

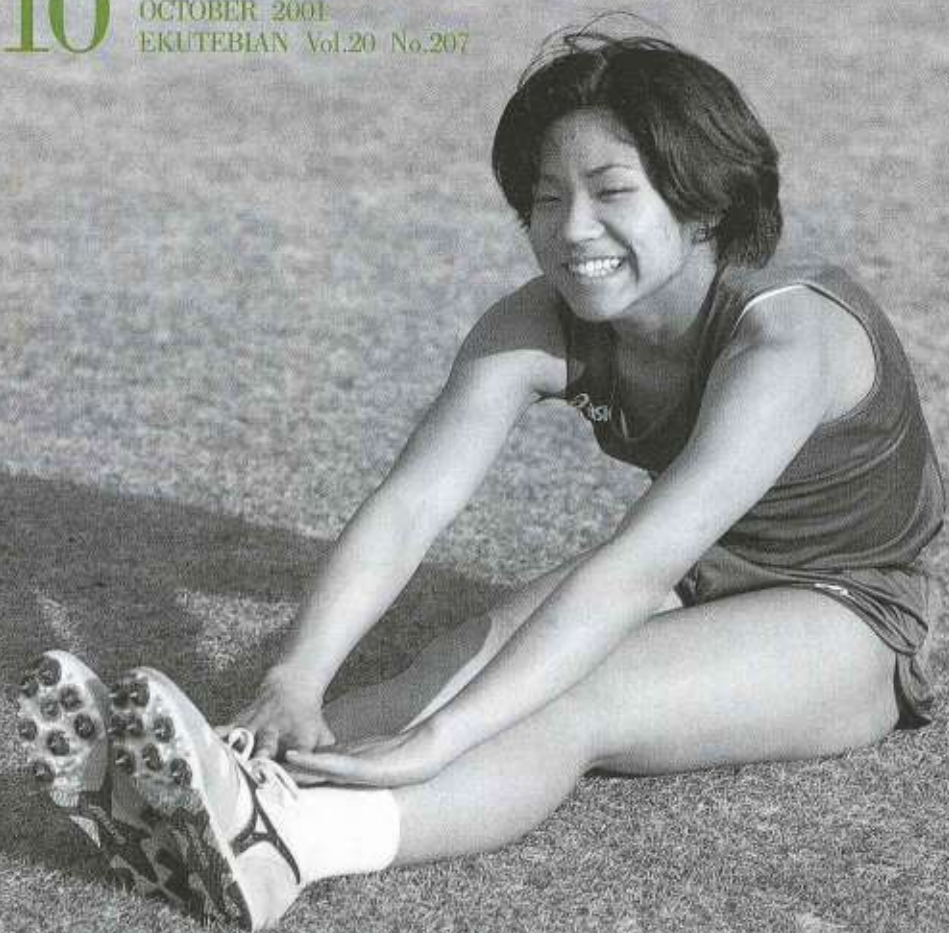
えくてびあん

10

立川と語ろう 立川に生きよう

OCTOBER 2001

EKUTEBIAN Vol.20 No.207



表紙の人 金谷彩佳里 (富士見町)

撮影 細江英公

大菩薩嶺 (2057 m)

案内人 守屋龍男



輝く草原と岩の稜線

[立川高島屋屋上から]

登山家深田久弥氏が選定した日本百名山の一つで、車で中腹まで行ける手軽さもある。いつも大勢の登山者で賑わっている。とくに大菩薩峠(1897メートル)から山頂までの岩峰が連なる稜線歩きは、3000メートル級の高山にも負けない景観を目の当たりにできる。大きく迫った富士山や白雲を下に遠く光る南アルプスの連山を眺めていると身も心も爽快。高山植物の草原を渡ってくる風が頬に心地よい。

昨年10月下旬、立川市幸公民館の中高年登山教室の一行40人の皆さんと登ったが、大景観を心ゆくまで楽しんでおられた。

羽村出身の文豪中里介山の大河小説『大菩薩峠』で、嶺より峠の方が全国的に知られるようになった。小説では主人公机竜之介のニヒル(虚無的)で波瀾万丈な人生がこの峠から始まる。武蔵から甲斐へ通じる甲州裏街道のこの峠道(当時の峠は今より北にある賽の河原付近)は道中でも最も厳しい難所で、この小説のスタートにはふさわしい気がする。

大菩薩嶺はコメツガなど針葉樹に囲まれ展望のない寂峰であるが、落ち着いた奥秩父の原生林の雰囲気が好き。山頂から北側一帯は多摩川源流の一つで、東京都の水源林ともなっている。巡視路(登山道)が現青梅街道(国道411号)の柳沢峠まで続き、新緑の頃や秋の紅葉時期に歩きたいコース。紅葉はとくに素晴らしい。

立川では多摩川の中央線鉄橋からは三頭山の左後方に見えるが、中心街からは嶺が見えない。

[行程]

JR立川駅=中央線約1時間30分=JR福山駅=山梨交通バス30分=磐石=2時間=上日川峠=30分=福ちゃん荘=50分=大菩薩峠=1時間=大菩薩嶺(少し戻り富岩から尾根を下り、福ちゃん荘から往路に戻る)歩程約7時間。半人数がまとまれば登山からタクシーがよい。福ちゃん荘まで上がる(5500円)。

〈別のコース〉山頂=1時間=丸川峠=2時間=柳沢峠=4時間=磐石=山梨交通バス30分=塩山駅(下山歩程約6時間。道路歩きがよいので柳沢峠からタクシーを呼ぶことになる)

天候に恵まれれば雄大な眺望が迎えてくれる。大菩薩嶺北側の豊かな樹林も対照的な魅力。



私と大菩薩嶺

昭和47年、立川市民登山として初めて東京都以外に登ったのが大菩薩。97名の参加者にリーダーたちで材料や水を担ぎ上げて炊事したのも懐かしい。初心者にも登りやすく高山の要素も楽しめる山です。

竹内研一さん

(立川市山岳連盟会長・柴崎町)





「しつけ」や「指導」という言葉からは決別したいんです。

弁護士 村田光男さん

啓介 本書、読ませていただきました。
村田 いやあ、お恥ずかしい。
啓介 医者とか弁護士とかいう肩書きの人はある種のステイタスというか、我々凡人から見たら独特の権威的な匂いがあるでしょう。

村田 うーん、どうでしょう。
啓介 でも、お会いする度に思うんですが、村田さんからはそういう匂いが全く感じられない。不思議な人だなあと思っ

てたんです。
村田 貫禄がないんでしょね(笑)。
啓介 そもそも、弁護士として子どもの問題を専門に扱われるようになったのは何かきっかけがあったんですか。
村田 私、弁護士になるまでに随分と寄り道をしましたよ。

啓介 寄り道？
村田 ええ。大学は中央の法学部なんです

■村田光男(むらたみつお)／弁護士、東京弁護士会所属。同会子どもの人権と少年法に関する特別委員会委員、同会高齢者被害者総合支援センター担当員、東京三弁護士会多摩支部高齢者問題部会責任者、同支部少年問題部会責任者。主に子供と高齢者についての法律問題に従事している。今年6月、社会的存在としての子どもの価値を問う「今だからおとなと子どもがいきいき育つ発想法」を上梓。新しい「子ども観」を提示し話題を呼ぶ。また、弁護士としての業務の傍ら「たちかわの夏音楽祭」組織委員会責任者等を務め、コンサートの企画などを通じ市民文化の振興にも余念のない日々を送る。昭和23年生まれ。錦町在住。
■立井啓介(たていけいすけ)／本誌編集人。



「経済的に恵まれない子、進学塾に通えない子が多かったんです。」

啓介 いわば、落ちこぼれといわれている子供たちですか。
村田 いえ、言葉にこだわって申し訳ないんですが「落ちこぼれ」の子です。そんな子たちが、私のところへは朝6時からちゃんとやってくる。それが不思議でね。そのうちに色々相談も受けるようになって、何の権限もない私が先生や親の間を行ったり来たりするようになったりしてね。ここでようやく自分の目標が見えてきたというか、子供の人権という

ものを意識するようになったんです。
啓介 弁護士への道が見えてきた。
村田 霧が晴れたような気がしましたね。それから司法試験に真剣に身を入れるようになって。27歳を過ぎてました。ずいぶん遠回りをしました。
啓介 職業として志向するよりも、むしろ実体から弁護士を志すようになったわけですか。でも村田さん、その寄り道は実に有意義だったでしょう。

村田 そうですね。今だから云えるのかも知れませんが、あの頃の気持ちはまだどこかに残ってますよ。

啓介 私、思うんですが、最近の少年犯罪や学校で起こっている問題などを見ると、社会自体が昔に比べて荒れている、土地に例えると「痩せている」という感じがするんですよ。栄養が足りないというか。
村田 痩せた土地、痩せた社会、痩せた親。なるほど、わかりやすい表現ですね。
啓介 それが可能する論議のようになってしまっている。どうしたら昔のような、肥沃な社会になるんでしょうかね。

村田 立井さんの土地の例えで云うならば、今の子供たちも栄養はたっぷり持っ

ていますよ。
啓介 ああ、栄養ありますか。
村田 あります。しかし、それを腐らせる大人がいる。さらに腐ってしまった子供が大人と同化して、別の子供を腐らせてしまう。そういうことが云えると思うんですよ。

啓介 連鎖してるわけですね。
村田 大人は、その子供たちの栄養を実感できるだけの交流を持つべきなんです。そうすれば、あつという間に肥沃な土地になりますよ。

啓介 子供が栄養を持っているというところを前提に接すればいいわけですね。
村田 子供は子供として独自の価値を持っている。私はそれを訴えたいんですよ。大人はそれを認識すべきだと。わかりやすく云えば、「子供に対して」とにかく君には生きる価値があるんだ」と。
啓介 お話をうかがっていると、大人が子供を「育ててあげている」という発想は危険ですね。上から見おろす視線というか。

村田 同感ですね。優秀ではなく、社会的な存在として並列しているんですよ。

めるということを思い留まっただんです。
啓介 で、いよいよ弁護士をめざして司法試験に取り組みようになった。
村田 いや、それがまだなんです(笑)。さつきも申し上げましたが、やっぱり迷いというか、ずっと疑問を持ち続けていたんです。優秀な同輩たちは朝から研究室にこもり、講義は最前列で熱心に受講し、必死になって司法試験合格をめざして。私は不真面目な学生でしたが、彼らがなぜそんなにまでして司法試験をめざすのか、話を聞いてもよくわからない。

啓介 目的というか、展望というか。
村田 ええ、ピンとくるものが見出せなかったんです。で、とりあえず大学は卒業したんですが、司法試験一直線とはいかなかった。他の大学の講義に忍び込んでみたり、まあ、かっこよく云えば見聞を広めようとしたんです。

啓介 でも、卒業しちゃったわけでしょう。ただ遊んでるわけにはいかないし。
村田 ええ、とりあえず食いぶちを見つけたくなきゃいけないことで、小さな学習塾を開いたんです。まあ塾というより勉強場の提供という程度のもんですけれどね。朝6時から7時半までと夕方4時から7時まで。実質労働時間は4時間半という(笑)。

啓介 空いた時間で見聞を広めると。それ、うらやましいな(笑)。
村田 もちろん養分などできませんが、10人くらいの子供たちを相手にして、なんとか家賃を払って食べていけるくらいはやってました。ところがそうやって子供たちと接しているうちに、段々と学校の現実とか、子供社会の現実というものが目えてくるんです。私のところに通ってきて子供たちは、学校の成績が悪くて先生に相手にされていない子や、経

極端に云えば、私はもう「しつけ」とか「指導」とかいう言葉から決別したいんですよ。大人が子供の価値を認めること、子供たちは自分たちが理解されているという実感を持つことができ、大人が作った合理的なルールも自然に受け入れることができる。

啓介 そうすると、子供たちが犯罪を犯すこともなくなってくる。その必要性がなくなる。
村田 そうですね、やはり少年犯罪は必要だから起きてるんです。子供たちのアピールなんです。私が鑑別所や少年院で会った多くの子供たち、そのほとんどが、そういう言葉にできないメッセージを発していました。だから逆に「君は生きていてもいいんだよ」というメッセージを身体中から発する大人がいれば、それに触れた子供は100%、少年犯罪とは無縁であると、私はそう確信しています。

啓介 昔は良かった、というだけではいけませんねえ。
村田 新しい子供観を持っていたらいいですよ。

HAIR MAKES たしろ	高松町3-26-16 525-2175
ふとんの 青木寝商	若葉町1-8-1 536-8833
美容室 リラ	若葉町1-11-1 536-3048
みふじサイクル	若葉町1-12-4 536-7166
紀の国屋 立川支店	若葉町1-13-2 536-1604
いなげや 立川若葉町店	若葉町3-21-1 537-4119
パティスリーブルミエール	西砂町1-36-11 531-4835
ぎゃらりー 蘭	西砂町5-6-2 531-2392
いなげや 立川一番町店	一番町6-2-3 531-4925
fresh shop スーパーはしもと	上砂町3-2-1 536-2331
多摩中央信用金庫 栄町支店	栄町2-59-8 536-9711
いなげや 立川栄町店	栄町3-7-1 523-7201
手打ちそば 倍 更	栄町5-12-1 537-0991
相模屋 酒店	栄町5-81-8 536-2476
メンズカット ヤザワ	栄町5-61-31 536-8738
森田接骨院	栄町6-6-25 535-6240
いなげや 立川幸町店	幸町1-23-6 537-1820
中華レストラン SANFUJI	幸町2-3-5 536-3813
支那そば パワー軒	幸町2-35-3 535-1665
お菓子処 花奴 すずかけ通り店	幸町3-17-3 536-8785

えくてびあんの輪
人があて、街があります。あなたがあて、立川があります。そこにちょっとだけ、えくてびあん！
リストのお店にはいつでも、えくてびあん！

とんかつ 割烹 かつ亭	幸町4-59-3 535-4611
和洋菓子 たちばな	幸町5-2-16 537-0347
BSタイヤショップ 佐藤商会	幸町5-10-2 537-0912
古楽の小屋 ロバハウス	幸町6-22-32 536-7266
ブックス しんあい	錦町1-2-13 527-6701
御菓子司 やな瀬	錦町1-3-12 522-3969
手づくり時袋の材料専門店 北島こうじ店	錦町1-4-28 524-3190
new gyoza 1059 餃子天国	錦町1-5-6 526-2283
ステーキレストラン リブレ	錦町1-8-3 527-1630
和菓子処 ゆうき	錦町1-8-5 525-0780
ザ・ Crest Hotel 立川	錦町1-12-1 521-1111
美容室 アリス	錦町1-15-21 525-1100
パンと洋菓子 うちのやブルマン	錦町1-18-7 524-9280
駄菓子・ファンシー むぎばたけ	錦町2-1-1 526-0210
海が見えるカフェ シーマンズ	錦町2-1-1-2F 523-7407
美容室 FALCO	錦町2-1-10 528-2389
精食公行御用・日用雑貨 池田屋	錦町2-1-10 522-3731
しゃぶしゃぶ・調理 しやぶ・りん	錦町2-1-33 527-2228
スペイン料理 TAPAS	錦町2-2-29 529-0732
三田花店本店	錦町2-5-23 524-4187

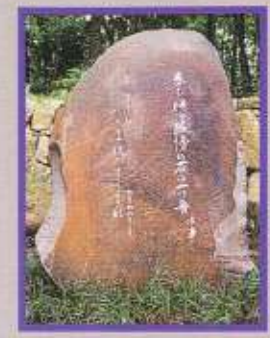
詩歌のみちまますます充実

むさし野の松 多摩川の石

① 高村光太郎
立川の友達から届いた葱は
長さ二尺の白根を横たへて
ぐっすりアトリエに寝こんでる
三多摩平野をかけめぐる
風の申し子、冬の精鋭、
俵を敷いた大胆不敵な葱を見ると、
ちきしょう、
造型なんて影がうすいぞ、
友がくれた一束の葱に
俺が感謝するのはその抽象無視だ



② 春を待つ路傍の石の一つ吾
谷川水車
どこよりも小学校のさくらかな
やまやのぎく



③ 参りうて道一ばいに揺りきたる
筑水 (鈴木貞治)



④ シクラメンの花と
田中冬二
大晦日の夜十時頃
親しくしていただいている花屋さんから
シクラメンの花束が届けられた
すばらしい花だ
そのシクラメンと年越をした
スキーートハートといっしょのように



⑤ 時雨かと戸を開けて見ればしぐれならず
星空さえて多摩川のおと
和田山蘭



⑥ ひとりゐるはあきこそよけれわか竹の
露ふりこぼす風に吹かれて
若山喜志子



立川の多摩川近くを流れるせせらぎ、根川添いを
中心に歌碑・句碑・詩碑が点在する。中村草田男の
句碑を皮切りに次々と建立され、今回の三基を加え
ると、実に十三基を数えるに至った。
今回は若山牧水の歌碑、水原秋櫻子の句碑、それ
に立川俳句界の長老、谷川水車・やまやのぎく(故
人)の「夫婦句碑」も誕生し、九月八日の除幕式には
多くの市民が参集してその祝意を表した。



⑦ 川原にかはらなでしこ咲くもよし
空をうつつして水澄むもよし
中野藤吾



⑧ 冬の水一枝の影も欺かず
中村草田男



⑨ 霧にこもれる多摩川いつか雨となり
芽ぶく楊もぬれはじめたり
若山旅人



⑩ 初日さす松はむさし野にのこる松
水原秋櫻子



⑪ 多摩川の浅き流れに石なげて
遊べば濡るるわが袂かな
若山牧水



⑫ 茜雲あえかに残り七母の背の
温みなつかし武蔵野くるる
池田澄子



⑬ 日のいろの寒き川原にひらめける
芒のそよぎ声のごときもの
八木下禎治



陸上競技走者、中学生。100メートル、全国大会で優勝を果たして一躍、その名を高めた。小学生時代にすでに13秒01をマークする驚異のランナーとして注目される。「フジミ陸上クラブ」に所属するが長年、彩佳里ちゃんの指導にあたってきた萱 信一氏も「性格も素直で落着いているんです。走法は走り方の見本をもって生まれてきたような子なんです」と絶賛している。中学生になってますます走りに巧緻性を増してきて、行く末、楽しみにしたいランナーだ。

(於・立川競技場/撮影・細江英公)

東風

夏が案外と早く去って、秋らしい空気に満ちてきた。もう10月だもの、当たり前か？ 9月6日「いつも、旅」の取材で田中清さんと、砂川のアメリカ村を散歩していたら、セミが鳴き、しおからトンボが飛んでいた。夏の炎帝が退き、秋の聲を聴く◆暑いうちから「えくてびあんトークさろん」の準備をしてきた。今秋のトーク、その主役はどの方になるのだろうか。いろいろな候補の中から結局、俳優の池部良さんに決まった。池部さんは「俳優」とばかり思っていたのだが実は「エッセイスト」としても名高いことを知らされた。ちなみにオリオン書房のノルテ店で調べてもらったら、なんと十数冊が出てきた。その全部を揃えてもらって工房に並べてみるとなかなか壮観である◆友人から、お前、そんなことも知らないで「えくてびあん」の編集をしているのかと窘められた。急いで「そよ風ときにはつむじ風」を読みはじめると、これが面白くて止められない。ご尊父を語って、実に味のある文章なのだ。経歴を眺めると、はじめ「東宝」の文芸部に入られたとある。文芸の天賦にも恵まれておられたのであろう。申し込みの締切りは、まだ間に合う。10月3日、消印有効◆新涼の月こそかかれ えくてびあん

【第三次えくてびあん同人】
編集 大久保清志/小林康史/杉山清純/
芳賀敏博/山田五郎
デザイン 池田隆典/AMNET DF
写真 中村伸/五来幸平

えくてびあん 10月号
第19巻 通巻207号
平成13年10月1日発行
発行 えくてびあん編集工房
〒190-0012
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TEL. 042-528-0082 FAX. 042-528-0065
編集人 立井啓介
発行人 藤尾勤三
印刷 (株)大廣社

えくてびあん トークさろん

しめきりは10月3日。お早めにどうぞ！



■池部良(いけべりょう)氏
映画「青い山脈」「暁の脱走」「雪国」「暗夜行路」など200本に主演。エッセーに「そよ風ときにはつむじ風」(日本文芸振興会文芸大賞)「風が吹いたら」「心残り」など多数。

先月号でのお知らせ以来、たくさんの反響をいただいている「トークさろん」。ご応募の締め切りまであと僅かです。どうぞ、池部良さんとともに豊かな秋の夕べを。

池部良 講演「父の遺言」

2001年10月19日(金)
開場 17:30 開演 18:00
立川市女性総合センター「アイム」ホール
主催/えくてびあん編集工房 多摩てびこネット

- 196席、全席ご招待です。ご希望の方は往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、同行者名(3名まで)を明記の上、下記までお申し込みください。
- 席に限りがございますので、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 申し込み先 〒190-0012 立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F えくてびあん編集工房 宛
- 問い合わせ えくてびあん編集工房 トークさろん係 TEL.042-523-9898
- 締 切 り 2001年10月3日(水)消印有効



舞たけ生産直売 有限会社 東京きのこ社

●西砂町2-32-2 ●531-5625
●日曜日午前中定休、7・8月休業
●9:00~17:00(売り切れるまで) ●Pあり

東京都に僅か二軒
立川の地で舞たけを栽培

ここ立川の地でキノコが栽培されているのをご存じだろうか。キノコの中でも主に舞茸を生産している農家が西砂町にある。小林康久さん、洋子さん夫妻が舞茸の生産を始めたのは今から4年前のこと。これまで舞茸の人工栽培は難しいとされていたが、5年ほど前からようやくその技術が確立してきた。そのため、はじめた当初は試行錯誤の連続だったという。

栽培方法は次の通り。おが屑とフスマに水を加えて攪拌、高温の蒸気で殺菌処理し、地地を作る。そこに菌を植え付けて発育させていく。敷地内には、初秋、中秋、晩秋と霧深い山林の気候を模した三つの室(年間を通じてそれぞれ一定の温度、湿度に保たれている)があり、この中を順に通過させることにより、舞茸が傘を開く。舞茸の成分は水に溶け出す性質を持っている。その点、雨の当たらない室内で栽培された舞茸はキノコ本来の栄養価が損なわれないため、自生しているものよりも美味しいのだそうだ。舞茸には、ガン細胞の抑制、血圧降下作用などの薬効があるとされている。また、カロリーがほとんどなく、ダイエット効果も期待できる。なにより生産直売ならではの価格が嬉しい。



舞茸 袋入り(写真) 500円(税込み)
舞茸 箱詰め(大) 1,600円(税込み)
舞茸 箱詰め(小) 1,100円(税込み)



真味百撰 54

日高山脈の麓で野宿をしたのが最初でした。阿寒では観光地の真ん中にテントを張るとい

のか。己の中の芭蕉は何処へいったのか、山頭火はどうした。第一、現実の問題として金が続かないではないか。



イラスト: 綾 幸子

旅はなにが起きるか分からない、まるで人生そのものです。(やまだこうろう・詩人)

旅びととしての「度胸」もできてきました。十勝へ入って、ある民家に居候したり、その家がたまたま別棟を新築していたので、その建前の餅を撒いたり、大工さんと酒を酌み交わしたりの楽しい夜を過ごしたこともありました。大雪山では大学の山仲間と合流して、あの大きな山塊を縦横無尽に歩き続けたものでした。

弟子屈のそばの当別川の川べりでテントを張っていた時のことです。子供たち数人がもの珍し気に寄ってきて、私の一挙手一投足を見据えている。そのうちに散ったかと思ったら母親らしきご婦人がやってきて、——この辺では当別川の水を飲む人なんか一人もおりませんわ。どうか夕ご飯にはこれを召し上がってください。間もなく、別の家からおはぎが届けられる。その内にあるお母さんがテントへやってきて、——うちの子がどうしてもテントに泊まってみたいと云ってきかれないんです、どうか学生さんは家へお泊り下さって、うちの子をテントに泊めてやってください。

北海道に最初に着いたのが登別でした。テントを張ろうにも、この観光地にテントを張るような場所が見つからない。仕方なく三流の旅館に一泊したのですが後悔が先立ちました。自分は何の為に重いテントを担いで放浪の旅に出た

人間は生まれながらにして「放浪癖」という癖を持っているのではないのでしょうか。此処以外なら何処へでも行きたい。旅に出たい、知らない街を歩いてみたい。漂泊の詩人・松尾芭蕉にひとは憧れを持ちます。旅に病で夢は枯野を駆け廻る。

ゴロさんの独断毒語

放浪

辞世と云われるこの句をどんなに染み染みと味わうことでしょうか。種田山頭火も尾崎放哉にしても彼らの詩から「さ迷い」を除いてしまつたら、なんのことはない、ただの小父さん旅行でしかないことでしょうか。私も人並に幼少の頃から旅ごころを持っておりまして。大学生になつて登山をはじめたことによつて「旅の技術」を身に付けたようでした。テント張りの日々は、いわば野宿生活です。勢いあまって、ある年の夏休みに北海道への放浪を断行致しました。七月一日に東京を發つて八月三十一日に帰郷する。ただ、それだけを決めて上野駅を出発いたしました。テントは一人で張れるように自分で設計。背中をみだすようなキスリングと呼ばれる大きなリュックサックを担いで独り旅立ったのでした。

一字千金
文字や文章が非常にすぐれていて、一文字で千金の値打ちがあること。中国、秦の呂不韋が、その著書「呂氏春秋」を城門の前に置き、書中の一字でも手を入れられる者がいたら、千金の賞金を与える、と云ったという故事による。



「常楽我淨」(じょうらくがじゆん)放送時間
スカイパーフェクトTV 216ch、マイテレビ 84ch
土 曜 午前9時~9時15分
午後7時15分~7時30分
再放送/火曜 午前9時~9時15分
午後7時45分~8時
放送時間は予告なく変更する場合がございます。
立川に育てられて六十五年
真如苑
安永町1-2-13 Tel.527-0111(FX)

世界の主要通貨、トラベラーズチェックはもちろん、ご要望の多いアジア通貨もその場で両替可能。

たましん
ワールドキャッシュセンター
ルミネ立川9Fバスポートセンター前
営業日 月曜日~金曜日
(土・日・祝日は休業)
営業時間 午前10時~午後6時
TEL 042-523-0057
http://www.tamashin.jp

デジタルえほん

メモリーブックにどうぞ...
ミッキーや
キティちゃんと一緒に...!!
あなたの写真と名前が絵本の中に入ります。
PLANNING・DESIGN・PROCESS・PRINTING
大廣社 042-527-1911
〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-13
FAX.527-1949
E-mail JD05215@nifty.ne.jp

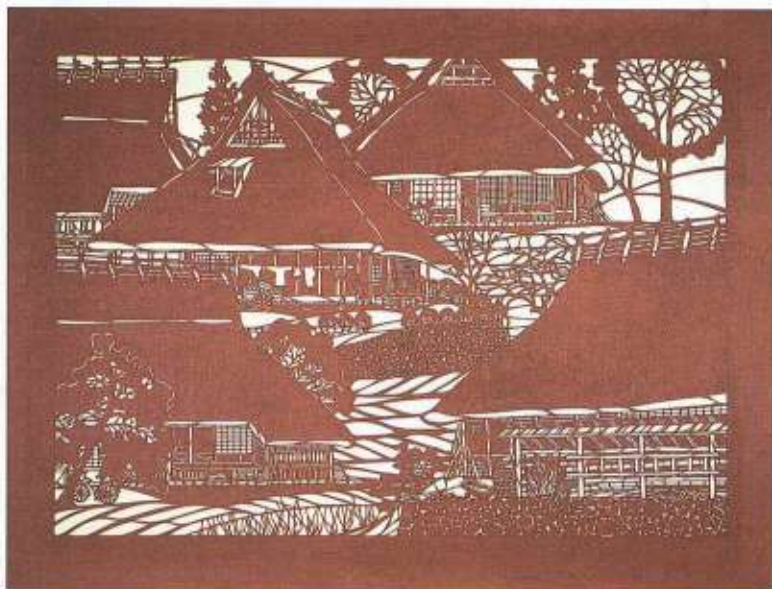
いつも、旅

型染版画家・田中清の世界 ③

先月も申し上げましたが、私の故郷は但馬です。故郷へ帰る途中、京都を過ぎて中国山脈にかかるところに丹波があります。汽車に乗っていると人々の言葉つきが少しづつ変わってきて嗚呼、丹波が近づいてきたなあと実感する。なによりも「歴史」の重みを感じるのです。都市文明との比較をせざるを得ません。これは、都会に生きているからこそ感じるのでしょうか。



多摩の新景より
『竹林公園』
(東久留米市)



『民家』(丹波)